

案内

障害福祉サービス事業所に初めて就労している 居宅介護職員に奨励金を交付

障害福祉サービス事業所に初めて就労している居宅介護職員に奨励金を交付します。

- *対象/次の①～④すべてを満たす市内在住の人
- ①令和4年4月1日以降に障害福祉サービス事業所に初めて就労している
- ②就労日以降、6か月以上継続して居宅介護職員(常勤・非常勤は問わない)として月15日以上勤務し、かつ申請時に勤務を継続している
- ③障害福祉サービス事業所に直接雇用されている
- ④市税などを完納し、大垣市介護人材就労支援奨励金を受給していない
- *対象障害福祉サービス事業所/市内の居宅介護、重度訪問介護、同行援護、行動援護、移動支援を行う事業所
- *奨励金額/5万円(1回限り)
- *申込/申請書(市HPからダウンロード可)に必要事項を記入して障がい福祉課(☎47-7162)へ



保育者の就労を支援 ～各種費用を補助～

保育士資格または幼稚園教諭免許を持つ人や、これから取得する人が、新たに市内の対象施設で保育者として就労する際に、各種費用の一部を補助します。

- *対象施設/市内にある、認可を受けた保育所、幼稚園、小規模保育事業所および認定こども園
- *補助内容/①保育従事に伴う被服費など(上限10万円)
- ②賃貸住宅の敷金や礼金など(上限5万円) ③市外から転入する引越し費用(上限10万円)
- *備考/①②③の併用可。就労条件などにより補助の対象外となる場合があります
- *問合せ/保育課(☎47-7096)へ



農業振興地域内農用地区域からの除外申請は6月10日までに

今年度の農業振興地域内農用地区域からの除外申請は、6月10日が締め切りです。

申請には、事前相談が必要です。同区域内で、分家住宅建築などの計画がある人は、お早めに農林課(☎47-8624)でご相談ください。

大垣市未来ビジョン市民アンケート調査にご協力を

長期的な視点に立ち、市政運営を総合的かつ計画的に進めていくため、大垣市未来ビジョンに基づくまちづくりを進めています。

このたび、同ビジョンに示す取り組みに対して、市民の皆さんが感じている満足度や重要度などを把握するためのアンケート調査を行います。

4月下旬に、無作為に抽出した3,000人に調査票を郵送しますので、ご協力をお願いします。詳しくは、地域創生戦略課(☎47-8216)へ。

- ▶回答方法/5月12日までに、郵送(返信用切手不要)または、インターネットで回答
- ▶備考/無記名のアンケート方式で、結果は統計的に処理します

中小企業者や個人事業者などを支援 若年技能者人材育成・地元定着事業補助金

- ▶対象/市内に事業所を有する法人または個人事業主(市内に住所を有する人に限る)で、資格取得支援に取り組む、中小企業基本法上の中小企業 ※その他条件あり
- ▶補助対象/建設業に携わる若年技術者・技能者(その年の4月1日に40歳未満で市内に勤務している人)の資格取得に係る受験料、資格取得に必要な研修などに係る経費
- ▶補助額/補助対象経費の2分の1 ※上限5万円
- ▶申請期限/令和8年2月27日(金)



市HP

大型連休中のごみ収集日の変更

大型連休中のごみ収集日の変更は下表のとおりです。詳しくは、クリーンセンター(☎89-4124)へ。

ごみ収集日の変更			
収集日	もえるごみ	もえないごみ・ペットボトル	プラスチック製容器包装
4月29日(火・祝)	収集を休みます この日が収集日の区域は、5月2日(金)に収集します		
5月5日(月・祝)	収集を休みます この日が収集日の区域は、5月8日(木)に収集します		
5月6日(火・振)	収集を休みます この日が収集日の区域は、5月9日(金)に収集します		

市民病院・豊田院長の健康コラム No.13

大腸ポリープと大腸がん ～内視鏡(カメラ)検査が大切です～

皆さん、こんにちは。市民病院院長の豊田秀徳です。健康コラム第13回をお届けします。

今回は大腸ポリープ・大腸がんについてのお話です。大腸がんは非常に多いがんで、現在わが国での新規患者数は第1位、死亡数では第2位になっています。市民病院にも毎日のように大腸がんの患者さんが紹介されてきます。



大腸がんの多くは、最初は大腸ポリープから始まるとされています。ポリープのうち悪性ではないのですが、ポリープが大きくなるとその中にがん細胞が出現してきます。これを放っておくと大腸がんとなり、そのまま進行するとリンパ節、さらには肝臓や肺など他の臓器に転移していきます。

大腸ポリープ・がんの治療は進行の程度によって大きく変わります。ポリープのほとんどは内視鏡(カメラ)検査の際にその場で切除してもらえます。これは「がんの芽をつむ」という大きな意味があります。すべてのポリープが大腸がんになるわけではないですが、がんになる可能性があることは知られていますので、取っておくに越したことはありません。大腸がんになってもごく早期のものは内視鏡で切除できますが、進行すると外科での切除(手術)になります。外科治療も最近ではほとんどの患者さんがお腹に小さな穴を開けて行う腹腔鏡手術やさらに進んでダヴィンチ手術など、より痛みが少なく負担のない手術を受けていただけます。

大腸から遠くのリンパ節や大腸以外の臓器に転移していたりすると外科手術でも取りきれなくなります。こうなると大腸がんも昔のがんのイメージ、いわゆる「不治の病」になります。治療も抗がん剤で治療するしかなくなりますが、最近の抗がん剤治療の進歩は目覚ましく高い治

療効果が期待でき、副作用も少なくなっています。最初は手術では取り切れなかったがんが、抗がん剤のおかげで切除できるようになり、完治に持ち込めた患者さんもいます。決して諦めることはありません。

市民病院では、内視鏡での治療、ダヴィンチや腹腔鏡による外科治療(手術)、さらに抗がん剤治療などすべての治療の専門家がおり、治療にあたっています。また治療を受ける患者さんのサポート体制も整っており、心配なく治療を受けていただけます。

大腸がんが大きくなって腸を塞いでしまうと腸閉塞となり腹痛・嘔吐などの症状が出ますが、早期の大腸がんは検査で見つかることが大半です。検診で便に血が混じる(便潜血)と言われて受診し内視鏡を受ける人は多いでしょう。内視鏡検査は直接に大腸を観察するので、がんがあればまず見つかりますし、ポリープはその場で切除できます。逆に腸は異常がなくても便通の不調など症状がしばしば出る臓器ですが、大腸内視鏡検査を受けて異常なしと言われれば症状があっても全然大丈夫だと安心していただけます。

大腸内視鏡は下剤などの前処置が大変で検査自体も苦痛があると心配されるかもしれませんが、最近では非常に受けやすい検査になっています。ある程度の歳になったら、一度検査を受けることを考えましょう。

コラムで取り上げてほしい話題などは、入力フォームへ



入力フォーム

大腸ポリープ～大腸がんへの進行(症状が出るのは半ば以降、最後まで出ないこともあります)

